

香川高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	241114			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械電子工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 精選文学国語 明治書院 中島国彦他編 ISBN978-4-625-00427-8 問題集: 精選 文学国語 構成 読解ノート (小説・評論) 明治書院 教科書: 高等学校精選古典探究 第一学習社 伊井春樹他編 ISBN978-4-8040-2158-4 問題集: 学習課題集 精選古典探究 第一学習社 漢字: 級別漢字学習 4級~2級 東京法令出版 赤羽靖他 ISBN978-4-8090-7508 表現: 改訂版基礎からの国語表現の実践 2訂版 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 ISBN978-4-7637-4104-2 図説: 新国語便覧 大修館書店 ISBN978-4-469-32228-6 辞書: 電子辞書等 (国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
担当教員	古明地 樹						
到達目標							
1. 文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。また, 論理的な文章 (論説や評論) の構成や展開を的確に捉え, その論旨をまとめることができる。 2. 日本語表現に関する基礎知識を習得し, 実用的な文章を作成できる。 3. 古文について, 基本古語・古典文法を修得し, 現代の文化とのつながりを説明できる。 4. 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1: 文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。また, 論理的な文章 (論説や評論) の構成や展開を的確に捉え, その論旨をまとめることができる。	文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を正確に捉え, 表現に即してより深く読み味わうことができる。また, 論理的な文章 (論説や評論) の構成や展開を正しう的確に捉え, その論旨を適切な日本語でまとめることができる。		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。また, 論理的な文章 (論説や評論) の構成や展開を的確に捉え, その論旨をまとめることができる。		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができない。また, 論理的な文章 (論説や評論) の構成や展開を的確に捉え, その論旨をまとめることができない。		
評価項目2: 日本語表現に関する基礎知識を習得し, 実用的な文章を作成できる。	日本語表現に関する基礎知識を習得し, 正しう的確な日本語表現で実用的な文章を作成できる。		日本語表現に関する基礎知識を習得し, 実用的な文章を作成できる。		日本語表現に関する基礎知識を習得できない。実用的な文章を作成できない。		
評価項目3: 古文について, 基本古語・古典文法を修得し, 現代の文化とのつながりを説明できる。	古文について, 基本古語・古典文法を全て修得し, 現代の文化とのつながりを適切に説明できる。		古文について, 基本古語・古典文法を修得し, 現代の文化とのつながりを説明できる。		古文について, 基本古語・古典文法を修得できない。現代の文化とのつながりを説明できない。		
評価項目4: 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	常用漢字の音訓を全て正しく使える。主な常用漢字が全て書ける。		常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		常用漢字の音訓を正しく使えない。主な常用漢字が書けない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-(1)							
教育方法等							
概要	国語Ⅱでは, 国語Ⅰで修得したことをもとに以下の目標を掲げる。 1. 評論などの論理的文章では, その構成と展開を的確に捉え, 筆者の考えをまとめることができる。また, 小説などの文学的文章では, 物語の展開に即して, 登場人物の心情や作者のものの見方を捉え, 主題をまとめることができる。 2. 日本語表現については, 正しい日本語の基礎知識を習得し, 実践的な文章の中で適正な日本語表現ができる。 3. 古文については, 基本古語・古典文法を修得し, 現代の文化につながる古文の世界を, 物語や随筆を通じて味わうことができる。 4. 常用漢字の音訓を正しく使い, 主な常用漢字が書ける。						
授業の進め方・方法	講義形式を基本とする。原則として, 年間10回の漢字小テストを実施する。						
注意点	1. 各期の成績評価の内訳は, 定期試験80%, 提出物10%, 漢字小テスト10%とする。 2. 学年総合成績は, 前期総合成績と後期総合成績の平均点とする。 3. 授業に対する取り組みの悪い者については減点することがある。 4. 単位追認試験, 再試験は適切な時期に実施する。 5. オフィスアワーは月曜日放課後とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	0. 全体ガイダンス 1. 文学国語「山月記」 (中島敦)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		2週	1. 文学国語「山月記」 (中島敦)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		3週	1. 文学国語「山月記」 (中島敦)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		4週	1. 文学国語「山月記」 (中島敦)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		5週	2. 文学国語「鞆」 (安部公房)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		6週	2. 文学国語「鞆」 (安部公房)		文学的な文章 (小説や随筆) に描かれた人物やものの見方を, 表現に即して読み味わうことができる。		
		7週	3. 「道成寺縁起絵巻」		古文について, 基本古語・古典文法を修得し, 文章の内容を理解してまとめることができる。		
		8週	3. 「道成寺縁起絵巻」		古文について, 基本古語・古典文法を修得し, 文章の内容を理解してまとめることができる。		

	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験返却 4. 文学国語「マンガは哲学する」(永井均)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
		11週	4. 文学国語「マンガは哲学する」(永井均)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
		12週	4. 文学国語「マンガは哲学する」(永井均)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
		13週	5. 古典探究「菅原道真の左遷」(大鏡)	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。
		14週	5. 古典探究「菅原道真の左遷」(大鏡)	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。
		15週	6. 「北野天神縁起絵巻」	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。
		16週	前期末試験	
後期	3rdQ	1週	7. 漢文基礎	漢文について、訓読法を修得し、筆者の考え方を読み取り、それに対する自分の意見・考えをまとめることができる。
		2週	8. 古典探究「不死之道」(列子)	漢文について、訓読法を修得し、筆者の考え方を読み取り、それに対する自分の意見・考えをまとめることができる。
		3週	8. 古典探究「不死之道」(列子)	漢文について、訓読法を修得し、筆者の考え方を読み取り、それに対する自分の意見・考えをまとめることができる。
		4週	9. 古典探究「侵官之害」(韓非子)	漢文について、訓読法を修得し、筆者の考え方を読み取り、それに対する自分の意見・考えをまとめることができる。
		5週	9. 古典探究「侵官之害」(韓非子)	漢文について、訓読法を修得し、筆者の考え方を読み取り、それに対する自分の意見・考えをまとめることができる。
		6週	10. 文学国語「山東京伝」(内田百閒)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		7週	10. 文学国語「山東京伝」(内田百閒)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験返却 11. 文学国語「こころ」(夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		10週	11. 文学国語「こころ」(夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		11週	11. 文学国語「こころ」(夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		12週	11. 文学国語「こころ」(夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		13週	12. 文学国語「「東京語」の表象の成立」(イ・スンヨク)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		14週	12. 文学国語「「東京語」の表象の成立」(イ・スンヨク)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		15週	12. 文学国語「「東京語」の表象の成立」(イ・スンヨク)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。
		16週	後期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3 前9,前10,前11,前12,前16,後8,後13,後14,後15,後16
			国語	論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3 前9,前10,前11,前12,前16,後2,後3,後4,後5,後8,後13,後14,後15,後16
			国語	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3 前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後16

				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合			
	試験	小テスト	合計
総合評価割合	80	20	100
評価項目 1	40	0	40
評価項目 2	20	0	20
評価項目 3	20	0	20
評価項目 4	0	20	20